PRESS RELEASE 報道機関配布資料 高崎市 TAKASAKI CITY

令和７年７月３１日

件名　　市庁舎２１階展望ロビーアートワーク展示について

市庁舎２１階展望ロビーは、年間を通じて一般開放し、多くの方々に利用していただいております。

高崎市では、２１階展望ロビーへ来庁された皆様に芸術を身近に感じていただこうと、２１階展望ロビーの北側壁面をアートワーク展示スペースとして利用しています。

今回は、本市在住の加藤万有未さんの油絵作品を展示します。

展示期間は、令和７年８月４日（月）午後１時から令和７年１１月２７日（木）午後１時までを予定しています。

※作家の略歴等は、別添資料をご参照ください。

【本件に関する問い合わせ】
財務部管財課
電話:027-321-1215

作家資料

令和 7年 5月29日 作成

展示日程		令和　7年　8月　4日(月)　～　令和　7年１１月２７日(木)	
（ふりがな） 氏　　名		かとう　まゆみ 加藤　万有未	電話
住　　所			携帯
生年月日			
加入団体・役職等		群馬県美術協会会員　高崎市民美術展審査委員　ぐんま女流美術協会役員　女子美術大学同窓会群馬支部会員	
師			
画歴・職歴等	1993年～1997年	租税教育本・ビデオ「税金と社会のかかわり」表紙絵・挿絵	
	1995年～	ぱれっと絵画教室開設	
	2004年	「上州路」表紙絵	
	2006年	群馬テレビ「英語で絵を描く」出演	
	2006年	FM群馬「子どもの絵画」について出演	
	2007年～	高崎市民展審査員	
	2007年	群馬テレビ「群馬の輝く女性」出演	
	2007年	准臨床美術士	
	2008年	群馬テレビ「全国緑化群馬フェアを応援壁画」出演	
	2013年	「きずなアートフェスinタイ」参加　タイ王室機関より感謝状	
	2020年	「コロナ収束願いアマビエ展」上毛新聞　You Tube	

自己紹介	幼い頃から絵を描くことが大好きでした。小学校の休み時間には友達の誘いも断り、教室で夢中になって筆を走らせるような子供でした。次第に学校の授業だけでは満足できなくなり、母にお願いして絵画教室に通い始めました。小さな体に画材道具を背負い、一人バスに乗って向かったその場所は、まさに別世界。年齢の違う仲間たちと共に学び、描くことの楽しさを深く知る時間でした。 大人になり、結婚・出産を経て、二人の娘を育てるなかで、改めて「絵ごころ」に心を寄せるようになりました。そんな折に女子美術大学群馬支部OG会とのご縁をいただき、志を同じくする仲間たちとの交流を通じて、絵に関する対話や相談ができる場が広がりました。こうした経験によって、私の絵の世界はより豊かになり、「絵を描くこと」そして「絵ごころを育み、伝えていくこと」の大切さを強く実感しております。
展示作品紹介	仮想の空間、次元の交わり、そして刻まれた物語の三つの視点から描きました。仮想と現実が交差する不確定な空間だからこそ、そこに潜む真の本質を感じ取ることができる。この未知なる空間で、これまで出会うことのなかった美と感動をぜひ体験してください。

	（ふりがな） 作　品　名	大きさ（号、縦×横（cm））	縦型 横型	制作年
1	かそうのぼとる(とどまる) 仮想のボトル（留）	F100号　162.0×130.3	縦型	2020年
2	かそうのぼとる(ひろがる) 仮想のボトル（拡）	F100号　162.0×130.3	縦型	2021年
3	かそうのぼとる(いん) 仮想のボトル（陰）	F80号　145.5×112.0	縦型	2018年
4	かそうのぼとる(よう) 仮想のボトル（陽）	F80号　145.5×112.0	縦型	2019年
5	ぜろから0 ゼロから0	F100号　162.0×130.3	縦型	2022年
6	ぜろから9 ゼロから9	F100号　162.0×130.3	縦型	2024年
7	ぜろから1 ゼロから1	F80号　145.5×112.0	縦型	2015年
8	こく（かい） 刻（会）	F80号　145.5×112.0	縦型	2014年
9	こく（かつ） 刻（活）	F80号　145.5×112.0	縦型	2020年
10				

※　作品名には、「ふりがな」をふってください。